

単元名 オーケストラの豊かな表現を鑑賞しよう

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解することができる。
 (2) 曲想と音楽の構造と音楽で表そうとしている内容との関わりについての知識を得たり生かしたりしながら、曲の演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。
 (3) 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲の演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

標準的な展開

12260102_001

【教材名】ブルタバ（モルダウ）（下 P. 26～P. 31）

【準備等】鑑賞音源 タブレット デジタル教科書 ワークシート

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「ブルタバ」が川の様子や流域の情景などを表していることを確認し、これと関わる音楽全体の構成を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『ブルタバの主題』までを視聴し、川の様子や流域の情景をオーケストラで表していることを確認する。 <p>★情景と音楽との関わりを感じ取ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 楽曲全体を鑑賞し、各場面の情景を言葉や絵で表現する <p>○『ブルタバの二つの水源』について、情景を音楽でどのように表しているか考えながら聴取し、聴き取ったことや気が付いたことをワークシートにまとめる。</p> <p>○まとめた内容を発表する。</p> <p>2 曲想の変化を音楽で表そうとしている内容と関わらせながら鑑賞し、自分なりの価値意識を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『ブルタバの主題』『森一狩り』までを聴取し、情景を音楽でどのように表しているか考えながら聴取し、聴き取ったことや気が付いたことをワークシートにまとめる。 『森の（田舎の）結婚式』『月、水の精の踊り』までを聴取し、同様に聴き取ったことや気が付いたことをワークシートにまとめる。 教科書P. 26「楽曲について」などを参照し、スメタナの祖国への思いを理解して『ブルタバの主題』（後半再現）から終わりまでを鑑賞する。 曲想の変化と音楽で表そうとしている内容との関わりを整理し、「ブルタバ」について自分が考えた魅力やよさなどをワークシートにまとめる。 ワークシートの内容を発表したり他者の発表を聞いたりして交流し、まとめた鑑賞をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 川の情景を表している音楽であることを確認させる。また、教科書P. 26の内容を確認し、ブルタバ川の情景や人々の生活を音楽で表現したことを理解させる。 感じ取った情景を絵や文で表現するところでは、音楽を聴きながらクイズ形式で、絵と表題を結びつける活動に置き換えるなど、生徒の実態に合わせて工夫したい。 タブレットを用いてまなびリンクを活用させ音色や音型を確認させる。 <p>【評】曲想と音楽の構造との関わりについてワークシートにまとめる活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> タブレットを用いてまなびリンクを活用させる。 演奏に対する評価も行いながらワークシートに記入させる。 <p>【評】曲想の変化と音楽で表そうとしている内容との関わりをワークシートにまとめる活動を通して、「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『聖ヨハネの急流』『ブルタバの広々とした流れ』『ビシェフラトのモチーフ』の曲想とその変化を感じ取り、スメタナが音楽で表そうとした思いを想像させる。 <p>【評】曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、発表交流する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】「ブルタバ」のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的に取り組む活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する</p>

【 備 考 】

「ブルタバ（モルダウ）」は、自然や文学的な内容などをオーケストラで表す交響詩である。本単元では、「ブルタバ」を主教材にして、曲想と音楽の構造との関わりを理解して、音楽に対する価値意識を変える学習を展開する。音楽で表している情景に加えて歴史的背景との関わりを理解し、オーケストラの豊かな表現を鑑賞させたい。

【共通事項】音色・リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱・構成